

成美小だより

☆第50号☆
2024年12月16日

R6年度教育活動アンケート調査の結果について

ご協力いただきました「教育活動に関するアンケート」の結果が集約できましたので、2回に分けて報告します。アンケートの結果を活かして、次年度の学校教育の改善に役立てていきたいと思ひます。

《児童アンケート結果》

設問	そう思う	ややそう思う	肯定的評価	R5比較
① 楽しく学校生活を過ごしている。	79.0%	16.4%	95.4%	+3.8
② 勉強時間に進んで考えたり、話し合ったりすることができた。	49.0%	37.7%	86.7%	+7.1
③ 友だちや先生・地域の人にすすんであいさつをしている。	60.6%	27.8%	88.4%	+6.5
④ マナーやきまりを守り、人にめいわくをかけないようにしている。	57.0%	35.5%	92.5%	+4.2
⑤ 友だちの気持ちを考え、こまっているときには、声をかけたり、何か行動したりしている。	54.6%	34.8%	89.4%	+1.1
⑥ 児童会活動など、さまざまな場で友だちとふれ合うことができて楽しい。	82.6%	13.3%	95.9%	+4.6
⑦ 校内で安全に気をつけて生活している。	64.5%	30.0%	94.5%	+2.5
⑧ 自分や友だち身近な生物などの命を大切にしている。	76.1%	21.0%	97.1%	+3.1
⑨ 困ったときに、だれか（家族・友だち・先生など）に相談している。	51.0%	32.4%	83.4%	+5.3
⑩ 地域へ出かけたり、いろいろな人たちと出会ったりする機会が多い。	69.8%	20.5%	90.3%	+7.0
⑪ 家や学校で、すすんで読書をするこことができた。	50.7%	20.8%	71.5%	-1.6
⑫ 家では、すすんで学習することができた（宿題含む）	54.8%	30.9%	85.7%	+0.6
⑬ タブレットを使った学習では、内容がよくわかった。	68.1%	25.8%	93.9%	+3.6

■児童アンケート結果より■

・昨年度との比較では、⑪を除く12項目中11項目について肯定的評価のポイントが上がりました。「一人残らず輝かせよう」を教職員の合言葉として、クラスの中で取り残されてしまう子がいないよう、きめ細かな指導を進めてきています。ただ、①については約5%（約22人）の児童がいることを重くとらえて、児童一人一人の思ひを把握し、特に弱い立場にある子どもを見逃さない取組を行っていきまします。

・話し合い活動についての評価が上がっている点については、授業改善の一環として授業でペア・グループ活動を積極的に取り入れていることが奏功していると考えています。今後、主体的に学ぶ子どもの育成に向けて、授業改善を積極的行っていきまします。

・肯定的評価で本年度唯一のマイナス評価が⑪です。今行っている朝読書以外に児童に読書の楽しみを味わわせ、読書が習慣化するための取組を今まで以上に行っていく必要があります。今後、ご家庭のご理解とご協力を得ながら、読書の習慣化に取り組んでいきたいと考えています。

OR6 後期児童会スローガン：ほめ合える 助け合える 一人一人が輝ける学校〇